

活動テーマ

緑を育て 川を守り 地球にやさしくしよう

実践事例について

里山「猪子山」での全校活動「猪子山活動」や地域の川「山路川」での水環境学習を中心にして、琵琶湖を大切にす環境教育を進めている。「見つけて」「考えて」学習したことを生かし、地域や家庭と「連携する」日常実践的なエコ・スクール活動を展開している。

1. 学校環境

大正2年に創立された本校は、琵琶湖の東、東近江市の能登川地区の中心部にある。JR能登川駅から近く、京都・大阪への交通の便もよいため、学区には商店街や住宅地が広がっている。児童数686名の大規模校である。

学校から徒歩5分程度のところに地域の里山である猪子山がある。古墳や遺跡などがあり、歴史学習の素材にも恵まれている。

また、湧水が豊富で水がきれいな山路川では、ハリヨなど貴重な水生生物も見られる。

2. 実践事例

(1) 里山「猪子山」を活動拠点にした「猪子山活動」

本校では、近くの里山「猪子山」をフィールドに環境学習「猪子山活動」を実施し、学年ごとに「猪子山で学ぼう」を大きなテーマとして、学習活動を実践している。また、低・中・高の学年部ごとに「自然に親しもう」「自然を調べよう」「自然を守ろう」とテーマを設け系統的に学習が行えるようにしている。

猪子山では、昆虫や鳥類などの生き物や樹木や草花などの植物の調査、古墳や遺跡の歴史学習など、猪子山というフィールドを生かした学習活動を展開している。各学年の教科の学習と「猪子山活動」が関わり合うようにすることで、教科書での学びを身近な環境につなげ、地域を好きになったり、誇れたりできる

ようにカリキュラムを組んでいる。

また、活動を行うに当たって、保護者の方や地域の方、能登川博物館の方などにボランティアとして関わっていただいている。地域とのつながりを高めることで、環境保護だけでなく、郷土を愛し今後も地域の自然を守っていこうとする態度の育成を図っている。



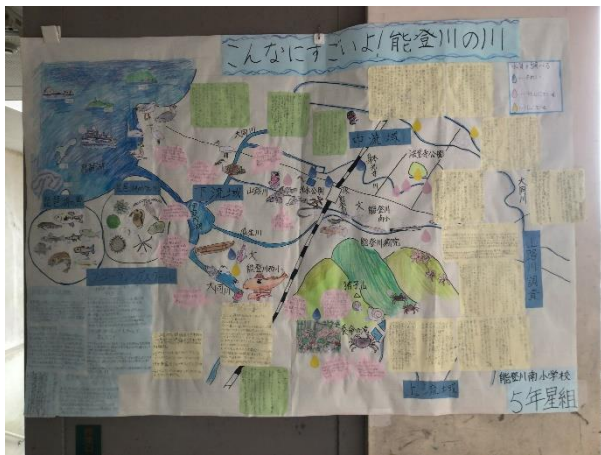
(2) 美しい川を守る「山路川調査」

湧水が豊富な能登川地区では、特に水環境について関心が高い。本校では琵琶湖の水を守るため、地域の川の様子を調べる活動を、5年生が中心となって行っている。

近くを流れる山路川で水環境の調査活動を実施し、魚や水草だけでなく水生生物(指標生物)を調べた。透明度調査をしたり、川の様子を見たりすることで現状を見ながら、その原因を探った。その結果、希少なスナヤツメが観察できることもあり、山路川は比較的水質が美しく保たれていることがわかった。しかし、捨てられ

ているゴミがあったり、下流にいくほどオオカナダモなどの外来種が多く見られたり、川の様子も汚れが見られたり調べる範囲を広げることで新たにわかることも多くあった。さらに、川岸をコンクリートで固めることで水害を防ぐことができるが、生物にとってその川が暮らしやすいのかを考えることで、環境によい川とはどのような川かを議論する姿も見られた。

身近な川について詳しく調べることで現状や課題から、今自分たちができることについて考えを深め、自らの行動につなげることができた。



(3) 進んで環境を守る実践活動

「エコ・スクールプロジェクト」

教科等の学習で、見つけて、考えて、培った環境を守ろうとする児童の思いを、日常的な実践活動に結びつけるのが「エコ・スクールプロジェクト」である。本校がこのプロジェクトに参加して21年目となる。

この活動は、エコ・スクール委員会が中心となり、自主的に環境を守る活動を展開する。「緑を育て、川を守り、地球にやさしくしよう」というキャッチフレーズのもと、持続可能な未来社会を創造するための基礎として多様な活動を展開してきた。

本校では、エコ・スクール委員会の児童が省エネ、省資源の活動を中心に、全校に呼びかけて活動を展開している。

節水・節電を呼びかけるポスターなどを作ったり、放送をしたりして全校児童がエコを意識できるようにしてきた。また、各クラスでエコに関するめあてを決め、「エコ宣言」として全クラス分を廊下に掲示した。毎週金曜日には、ストックハウスでのごみの計量をし、ゴミの減量を全校児童に意識させる取組を行っ

た。さらに、アルミ缶やペットボトルキャップ、インクカートリッジを各家庭と協力して回収する活動を実施したり、下学年から楽しんで環境について学んだり、自然に触れあったりするためにネイチャーゲームを行ったりした。今年度は、コロナ禍以前に行っていたEM菌を使ったプール掃除をエコ・スクール委員会が中心となり復活した。家庭の協力をいただきながら、EM菌をプールに放流することで、普段よりも早く・綺麗にプール掃除を行うことができた。



(4) 地域で支えるエコ・スクール支援委員会

このように充実した環境学習ができるのも、地域との連携を密にし、地域の有識者や行政の方々から支援やアドバイスをいただいているからである。今年も、猪子山活動等の指導など支援していただいた。山路川調査では、児童と一緒に川に入り、水生生物の採取の仕方や名称など専門家としての知識を児童に伝授していただいた。

3. 今後の課題

各学年での猪子山を柱とした学習と合わせて、エコ・スクール委員会の児童を中心に様々な活動を行った。今年度は、新たな取組としてネイチャーゲームを行い下学年から楽しみながら環境への意識が高められるようにした。また、以前行っていたEM菌の放流を復活し、家庭の協力を得た取組を進めることもできた。

今後は、今年度の成果を生かしつつ、MLGsの視点を教育課程の中にも位置づけ、持続可能な社会の実現に向けて、地域と連携した学習を展開していきたい。

学校名	東近江市立能登川南小学校
住所	東近江市猪子町12番地
電話番号	0748-42-0148
E-mail	notminamisho@higashiomi.ed.jp